

マーケットの動き（2024年4月8日～4月12日）

先週の国内リート市場は、前週末比で上昇しました。週前半は国内株式の上昇により、東証REIT指数は1,800ポイント超まで上昇しました。その後、10日発表の米国CPI（消費者物価指数）の上振れを背景に日米金利が上昇したことなどを嫌気し、国内リートは週前半の上昇幅を縮めて週を終えました。セクター別では、オフィスセクターや住宅セクター、商業・物流等セクターが総じて上昇しました。

投資環境見通し（2024年4月）

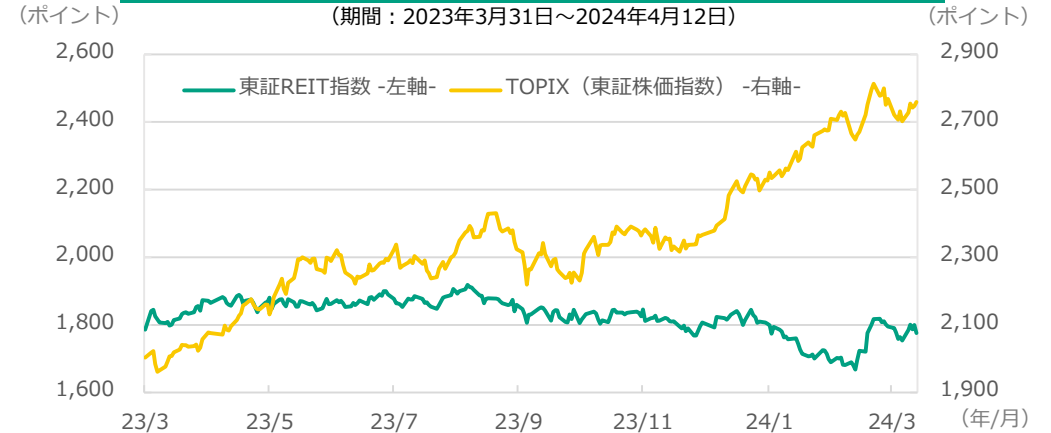
国内リート市場は、回復基調を辿ると予想

日銀の金融政策修正を受け更なる金利上昇懸念が後退する中、国内リートは回復基調を辿ると予想します。国内リーートの業績が緩やかに回復していることや、これまでの軟調な展開から国内リーートの割安感が強まっていること、需給環境の改善が期待できることなどが好材料になるとみています。

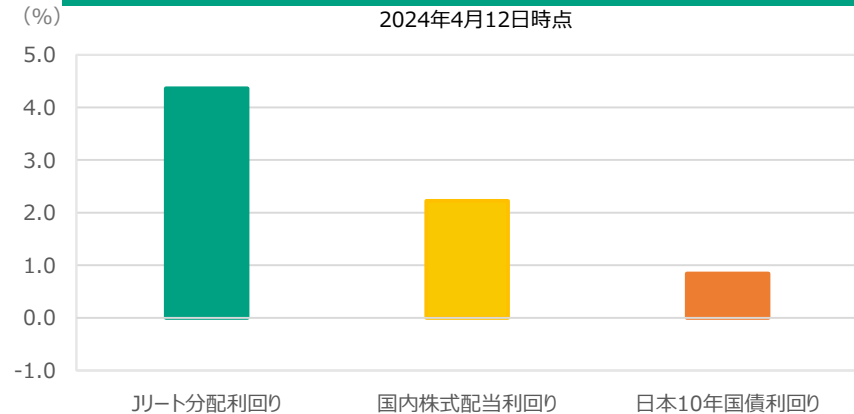
	4月12日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
東証REIT指数	1,775.67	1.25%	5.61%	▲4.03%	▲1.21%
<ご参考> TOPIX（東証株価指数）	2,759.64	2.11%	3.85%	17.81%	37.51%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

東証REIT指数、TOPIXの推移



国内各種資産利回り



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>